

2022年5月23日

夢洲直通列車向けの集電装置の開発について

近鉄では、統合型リゾート（IR）の整備が計画されている夢洲から、当社沿線各地を直通で結ぶ列車を計画しています。夢洲への延伸工事が進む大阪メトロ中央線・けいはんな線と奈良線とでは、集電方式が異なることから、直通列車は両方の集電方式に対応する必要があります。

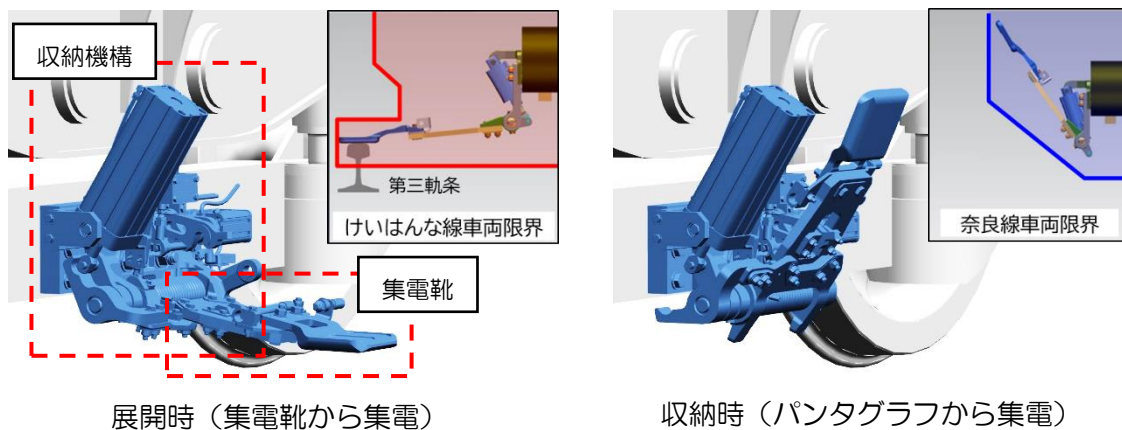
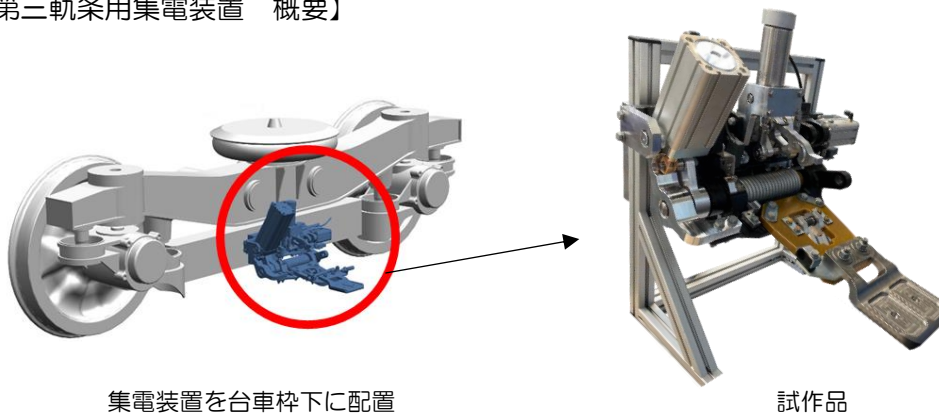
このたび、直通列車に必要な、可動式第三軌条用集電装置の試作品が完成し、各種試験に着手する予定となりましたのでお知らせします。

可動式第三軌条用集電装置は、架空電車線の区間では走行に支障する集電靴を、折り畳んで収納する機能を備えています。

当社としては、夢洲から当社路線を直通で結ぶ列車を実現させ、夢洲から沿線各地に誘客を図ることで、沿線地域の観光振興に貢献したいと考えています。

可動式第三軌条用集電装置の概要については以下のとおりです。

【可動式第三軌条用集電装置 概要】



別紙

【大阪メトロ中央線・けいはんな線と奈良線での集電方式の違い】

大阪メトロ中央線・けいはんな線



第三軌条

(台車の集電靴から集電)

奈良線



架空電車線

(屋根上のパンタグラフから集電)

【可動式第三軌条用集電装置開発参画企業】

開発参画企業は当社のほか、近畿車輛株式会社、Schunk Transit Systems GmbH、シュンク・カーボン・テクノロジー・ジャパン株式会社、株式会社ニシヤマです。

※可動式第三軌条用集電装置については、2022年5月25(水)～27日(金)にインテックス大阪で開催される「鉄道技術展・大阪」の当社ブースにおいて、パネル展示を行います。

【夢洲～当社沿線各地を結ぶ直通列車】

近鉄では、魅力的な車両開発による観光需要の創出に力を入れています。これまでに、大阪と名古屋を結ぶ名阪特急「ひのとり」、大阪・京都・名古屋と伊勢志摩を結ぶ観光特急「しまかぜ」、大阪と吉野を結ぶ観光特急「青の交響曲」、本年4月には大阪、奈良、京都を結ぶ観光特急「あをによし」を導入してまいりました。

夢洲は統合型リゾート（IR）の整備が計画されており、MICE施設やホテル、エンターテインメント施設など、国内外から多くの方が利用されると想定されます。当社としても、夢洲と当社路線を結ぶ直通列車を実現し、夢洲から沿線各地に誘客することで、沿線地域の観光振興を図ってまいります。

【当社路線略図】



【SDGsへの貢献】

- ・技術開発による鉄道輸送サービスの変革
- ・直通列車の実現による観光振興、沿線価値向上
- ・企業間連携による技術開発



近鉄グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

(以上)